

特定テーマ(1) 基本計画における「基本理念」「基本的な考え方」、そしてその基盤となっている劇場法の理念を具現化するための方策

# 市民の日常の文化活動を最重要視した、地元密着の「育成型文化施設」をつくり、久居地区の文化レベルを底上げします。



## 劇場法、基本計画の理念を十分に理解し、分析します。

### 基本計画の理念からキーワードを抽出

劇場法および基本計画の理念から、施設計画の指標となる13のキーワードを抽出。これらを文化施設を考える上での基盤とします。

### 『劇場、音楽堂等の活性化に関する法律』

（目的）

劇場・音楽等の事業の定義  
関係者・行政の役割の定義  
基本的施策等の策定

劇場、音楽堂が活性化する  
実演芸術の水準が向上する  
実演芸術の振興を促進

心豊かな国民生活  
活力ある地域の実現  
国際社会の調和ある発展

### （仮称）津市久居ホール整備基本計画



基本計画 P3 より 基本理念イメージ

- (1) テーマ  
地域をつなぐ開かれた  
独自性ある文化芸術の創造拠点
- 開かれた場
  - 幅広い市民にとって  
気軽に訪れられる
  - 文化芸術を身近に感じれる
  - 感動体験
- (2) 基本方針
- 独自性ある文化芸術の創造と発信を行う
  - ア) 産学官民が連携
  - イ) 地域の特色が出せる施設
  - ウ) 企画運営を考える機能
  - 学びと交流を促進する
  - ア) 稽古・活動の場の提供
  - イ) 誰もが触れられる
  - ウ) 幼少期から触れられる
  - 地域再生と活性化に寄与する
  - ア) 商業の活性化
  - イ) 副都心核の久居駅周辺地区の賑わい創出

## 市民の日常の文化活動を活性化し、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた文化施設によって、理念を具体化します。

### 市民ユースの文化活動の場をつくる

・理念の実現に必要なのは、プロ公演の鑑賞でなく、市民自らの創造による、文化の育成の場であると考えます。  
・下記の方策で、理念を具現化します。

#### 方策1 明るく開放的な居心地の良い公園のような施設とする

誰もが気軽に立ち寄ることが出来、常に人で賑わう施設をつくりたい。

#### 方策2 共用部に多くのテーブル、椅子を配置する

人々の居場所をつくり、常に人で賑わう施設をつくりたい。

#### 方策3 練習室等、活動室の中が見える活動が見えることで市民同士が触発し、触発され、文化活動を活性化させます。

#### 方策4 共用部に広場をつくり発表できる施設を訪れる楽しさと、発表の機会をつくり、文化に触れる機会を増やします。

#### 方策5 諸室の兼用・連動により様々な活動、催し物が並行して行える施設の使い方のバリエーションを増やし、効率的に多機能に使える施設とします。

### 世界的指揮者小澤征爾さんが練習室内に乱入し指導するハプニング（弊社設計事例）



### 人々の活動に触発されて自らも参加したくなる空間づくり（弊社設計事例）



#### 方策6 バック諸室が連動できる

様々な規模のホールイベントに対応することが出来、催し物の幅が広がります。

#### 方策7 活動室が共用部に顔を出す活動と出会う機会をつくと共に熱気を集め、文化活動をより一層活性化させます。

#### 方策8 楽屋空間とホワイエ空間を近づける構成とする

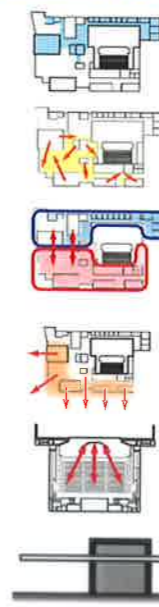
観客と演者が入れ替わるような催物に適します。観客と演者の交流も促します。

#### 方策9 通りに対して施設の活動を見せる通りを活性化します。親しみをもてる施設とすることができます。

#### 方策10 客数の規模に対応できるホール小規模演目でも舞台・客席の人の密度を上げ、活気と感動を感じるホールとします。

#### 方策11 シンプルなつくりとする

工事費を抑え、機能の入替えが容易な為、設計段階の要望を柔軟に取り入れることが可能です。



理念を具体化するための方策	実演芸術の振興													
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
方策1 明るく開放的な居心地の良い公園のような施設とする	○	○	○	○							○	○	○	○
方策2 共用部に多くのテーブル、椅子を配置する	○	○	○	○							○	○	○	○
方策3 練習室等、活動室の活動を見せる	○	○	○	○	○						○	○	○	○
方策4 共用部に広場をつくり発表できる	○	○	○	○	○						○	○	○	○
方策5 施設内諸室の兼用・連動により様々な活動、催し物が並行して行える	○	○	○	○	○						○	○	○	○
方策6 バック諸室が連動できる						○	○	○	○					
方策7 活動室が共用部に顔を出す	○	○	○	○	○						○	○	○	○
方策8 楽屋空間とホワイエ空間を近づける	○	○	○	○							○	○	○	○
方策9 通りに対して施設の活動を見せる	○	○	○	○							○	○	○	○
方策10 客数の規模に対応できるホール	○	○	○	○							○	○	○	○
方策11 シンプルなつくりとする	○	○	○	○							○	○	○	○

指標となるキーワードと方策による効果

特定テーマ（2）敷地全体及び建物におけるゾーニング及び動線の考え方

# 日常の文化活動を表出させて街の賑わいを創出するとともに、誰もがいつでも気軽に立ち寄れ、活気で溢れる施設をつくります。

## 文化活動を街全体に発信する施設をつくります。

### 市民や街全体を巻き込み盛り上げる

- 歩いて楽しい街にする為、高質空間形成施設整備道路を中心に、アプローチ道路に街路樹、パナール、ベンチ等の整備を提案します。
- 工事中の現場見学や署名入りレングなど、市民参画により愛着がわく手法を提案します。



### 街に活動を表出する構え

- 高質空間形成施設整備道路となる西側へ文化活動や賑わいを発信し、利用率アップと地域活性化を図ります。

### 文学館とともに文化地区を構成

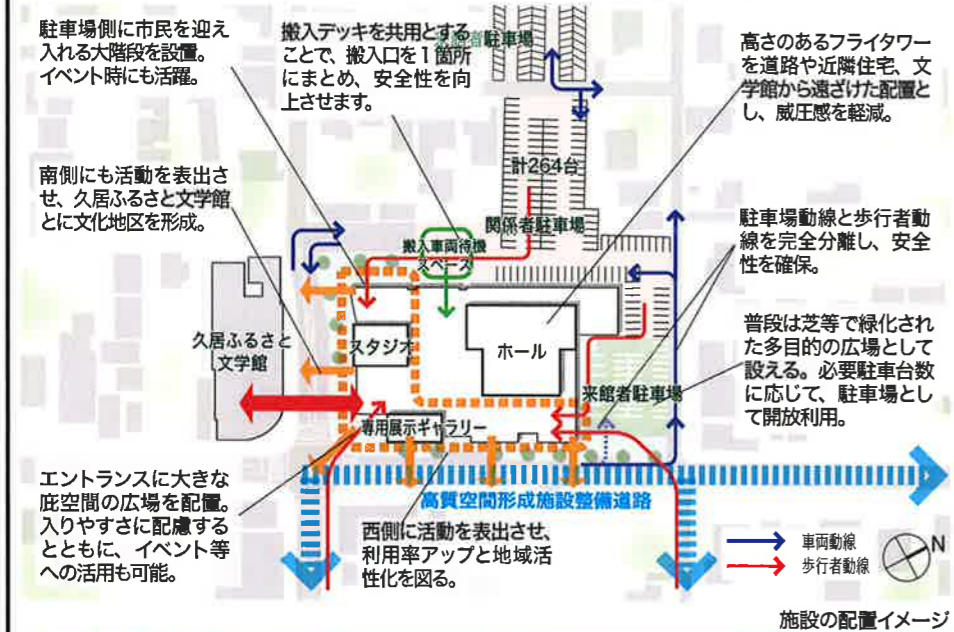
- 南側へ活動を表出させ、隣接した久居ふさと文学館とともに文化地区を構成します。

### 駐車場側にも施設の顔をつくる

- 駐車場側も広場、エントランス、2階活動室へ直接アプローチ出来る大階段をつくり、車での来館者に配慮します。
- 2階へつながる大階段は広場でのイベント時に観覧席としても使えます。

### 周辺に対する威圧感を低減する

- ふるさと文学館や通りからホールの位置を離すことにより、威圧感を軽減します。



### アプローチ大階段

駐車場側から2階活動室へ直接上がれる大階段。駐車場側広場でのイベント時には観覧席にもなる。

### バンド練習室

活動が見えるガラス張りの練習室。会議など多目的に利用出来るほか、楽屋への転用も可能な動線計画とする。

### ひさいアートスクエア

1階広場の吹き抜けを通して市内の文化活動を一望できる。練習室等の待合としても機能。

### バリアフリー ELV

ホワイエと屋内広場2階の段差に対し、2方向エレベーターを採用して全てのフロアに着床させ、バリアフリーに配慮。

### アプローチ大階段

駐車場側から2階活動室へ直接上がれる大階段。駐車場側広場でのイベント時には観覧席にもなる。

### 共用搬入デッキ

各施設で共有することでスペースを大幅に節約し、一元化により管理も容易に。屋内とし荒天時も快適に搬入可。

### ピアノ庫・創作工房

ピアノ庫、創作工房は、ホールイベント利用と、共用部側からの単独利用の両方に対応できる計画。

### アーティストラウンジ

出演者・スタッフが憩いや練習、歓談等が行える庭付のスペース。給湯や自販機も近くに備える。

### 広場（緑化駐車場）

普段は芝等で緑化された多目的の広場として設える。必要駐車台数に応じて、駐車場として開放利用。

### スタジオ

演劇からライブ、展示まで、幅広く対応できる超多機能空間。浮床遮音構造により他室との同時イベントも可能。

### 南側にも活動を表出

屋内広場と、利用率の高いスタジオを南側に配置し、久居ふさと文学館とともに文化地区を形成。

### ひさいアートスクエア

あらゆる活動が顔を出し、市内の文化活動が一望できる空間。テーブルを多数配置し、市民の居場所をつくる。

### 専用展示ギャラリー

メインエントランス近くに設置した、施設の顔となる機能と位置づけ、協働により外部からの直接の出入りにも対応可能。

### 情報ラウンジ

ふるさと文学館と連携しやすい東側道路に面して配置し、通りに対して賑わいを発信。事務室前で管理もしやすい。

### オープンな事務室

カウンター越しに職員のオフィスが見える開放的な事務室。市民が話しかけやすい雰囲気になり、利用を促進。

### 親子カフェ

キッズコーナーを併設した、子育て世代に配慮した開放的なカフェ。民間親子カフェテナントの誘致も提案可能。

### 専用展示ギャラリー

メインエントランス近くに設置した、施設の顔となる機能と位置づけ、協働により外部からの直接の出入りにも対応可能。

### 情報ラウンジ

ふるさと文学館と連携しやすい東側道路に面して配置し、通りに対して賑わいを発信。事務室前で管理もしやすい。

### オープンな事務室

カウンター越しに職員のオフィスが見える開放的な事務室。市民が話しかけやすい雰囲気になり、利用を促進。

### 親子カフェ

キッズコーナーを併設した、子育て世代に配慮した開放的なカフェ。民間親子カフェテナントの誘致も提案可能。

### 専用展示ギャラリー

メインエントランス近くに設置した、施設の顔となる機能と位置づけ、協働により外部からの直接の出入りにも対応可能。

### 情報ラウンジ

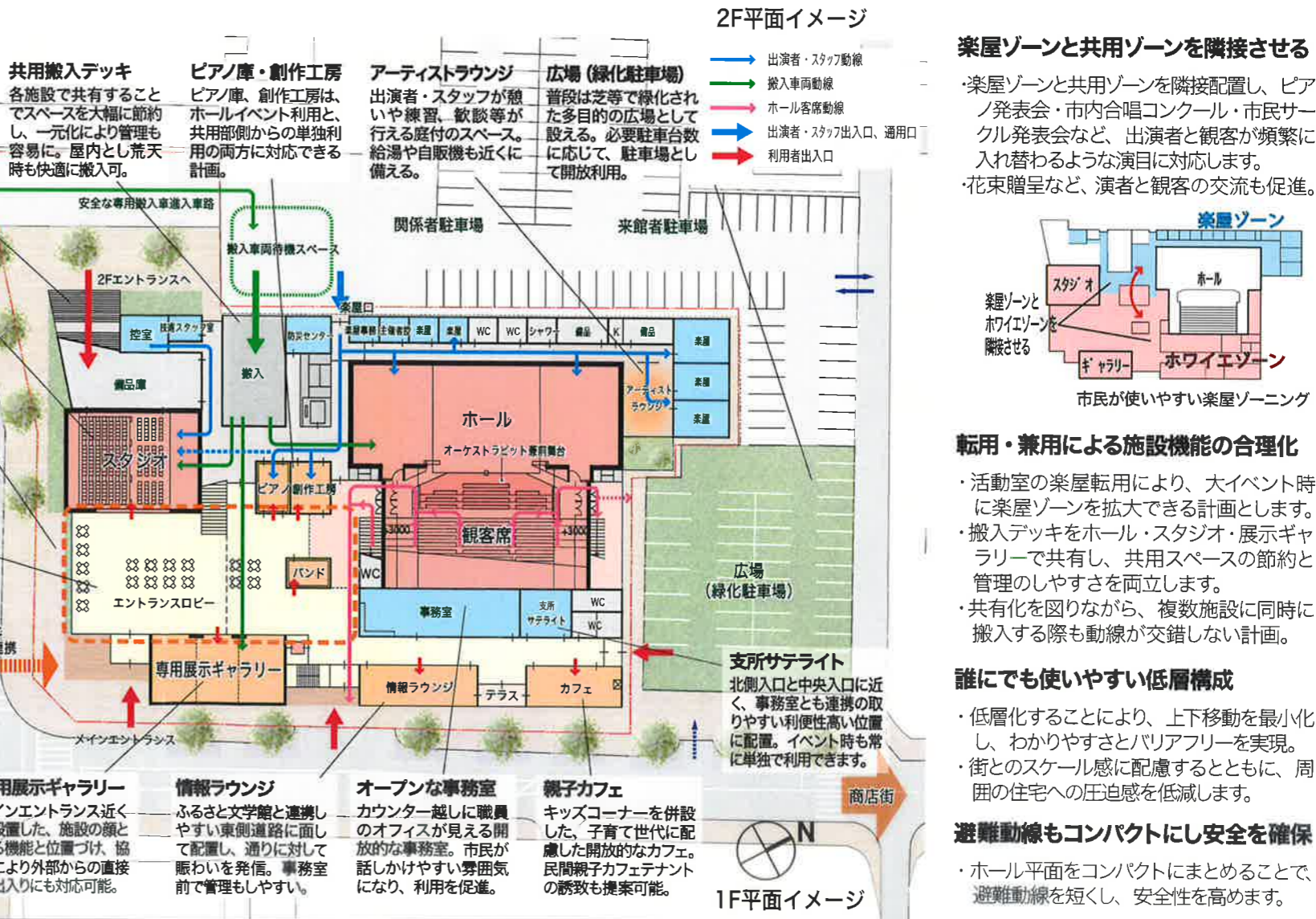
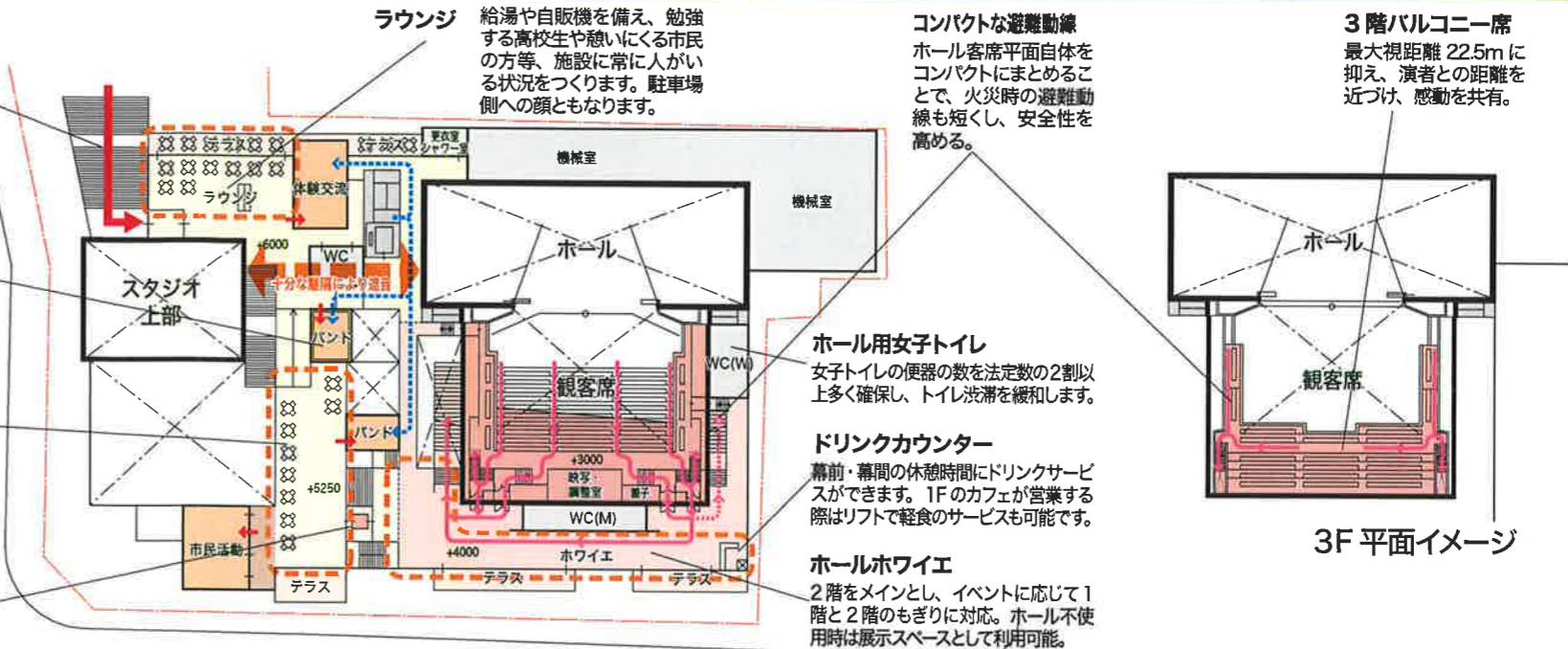
ふるさと文学館と連携しやすい東側道路に面して配置し、通りに対して賑わいを発信。事務室前で管理もしやすい。

### オープンな事務室

カウンター越しに職員のオフィスが見える開放的な事務室。市民が話しかけやすい雰囲気になり、利用を促進。

### 親子カフェ

キッズコーナーを併設した、子育て世代に配慮した開放的なカフェ。民間親子カフェテナントの誘致も提案可能。



特定テーマ(3) 個別の室・スペース及び複数室・スペース間の関係に関する考え方

# 「適正な諸室の仕様・構成」と「諸室の様々な組み合わせが可能な計画」により多様なニーズに応え、文化芸術の創造を推進します。

## 使い易く高次元で多ジャンルに対応する一流のホールを実現

### 演劇・舞踏系を意識したホール

- ・市ホール10施設と県ホールがある津市で、久居地域に適し、市内ホールと連携する独自性のあるホールを実現します。
- ・市内既存「文化ホール」3施設が相対的に音楽志向であるため、久居ホールは演劇・舞踏系を意識しながら、音楽にも伝統芸能にも高次元に対応する多目的ホールとし、利用者のニーズに応えます。
- ・市民ユースが多いホールを想定し、舞台・客席・舞台特殊設備が使い易く、安全なホールとします。

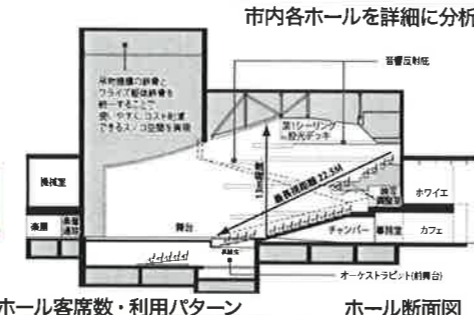


施設名	種別	座席数	利用状況	備考
1	演劇・舞踏系	320	利用中	津市ホール10施設
2	演劇・舞踏系	414	利用中	津市ホール10施設
3	演劇・舞踏系	704	利用中	津市ホール10施設
4	演劇・舞踏系	620	利用中	津市ホール10施設
5	演劇・舞踏系	408	利用中	津市ホール10施設
6	演劇・舞踏系	290	利用中	津市ホール10施設
7	演劇・舞踏系	290	利用中	津市ホール10施設
8	演劇・舞踏系	290	利用中	津市ホール10施設
9	演劇・舞踏系	290	利用中	津市ホール10施設
10	演劇・舞踏系	290	利用中	津市ホール10施設

### 演者と観客の一体感を生む配置と客席数

- ・3層のサイドバルコニーと上段の音響庇を設置し、舞台を取り囲む配置とし、舞台と客席に熱気を生む計画とします。
- ・視距離は最長で22.5mとし、観客の臨場感と演者の演じやすさを演出します。
- ・オーケストラピットを迫り上げた前舞台のみを主舞台とする最も使い易い320席のホールや1階席のみを利用した414席でも利用できる総数704席と演目・用途に合わせ、空席が目立たない客席数が設定できる計画とします。

	前舞台利用	1F席利用	全席利用	オケピ利用	花道利用
1F	320	414	414	320	408
2F			290	290	290
座席合計	320	414	704	620	698



### クラシック音楽に適した平面・断面形状

- ・ホールの形状・材料等の建築要素によって決まる生音の演奏に対し、反射音が連続的に広がるボックス形状とします。
- ・平土間席から天井高さを13mとり、気積を確保し、響きの良い断面とします。
- ・サイドバルコニー下面とその上部2段の音響庇を設置し、初期反射音を充実させ、密度の高い響きを実現します。
- ・天井及び音響反射板は面荷重を45kg/m<sup>2</sup>とし、低音をしっかりと反射させます。



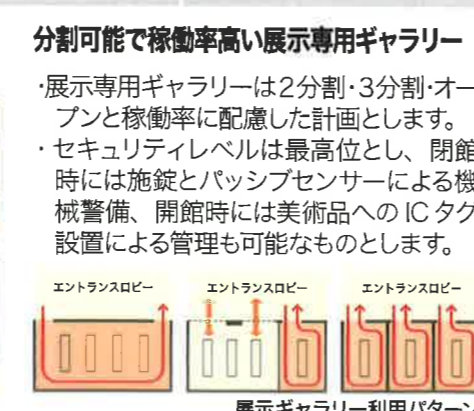
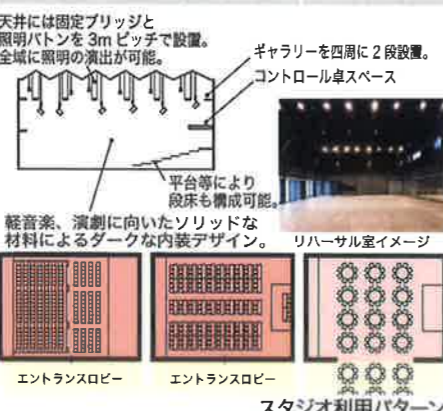
### ニーズ・安全性・将来性を考慮した舞台設備

- ・市民ユースを念頭に利用者のニーズと安全性へ配慮した上で、将来の機器の更新等がスムーズとなる設備を設置します。

安全性・演出性高い舞台機構	コスト・演出性配慮の舞台照明	音質・作業性重視の舞台音響
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オール電動化【安全性・演出性】</li> <li>・ネットワーク対応機器【拡張性】</li> <li>・2段スノコ【仕込・持込配慮】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライトパトン/ライトブリッジ検討</li> <li>・フロアサイドにライト用バルコニー</li> <li>・バルコニーライト検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル機器採用：音質・性能</li> <li>・残響時間の長い音響特性の中、鮮明度の高い電気音響計画</li> </ul>

### 稼働率100%を実現する多機能なスタジオ

- ・スタジオは、リハーサル機能・小ホール機能・展示機能・楽屋機能他の利用が可能な平土間の超多機能型とします。
- ・大きさは大ホール舞台アクティングエリアと同等とし、天井には壁四周にメンテナンスデッキと横断するライトブリッジを設け、様々な演出を可能とします。
- ・移動観覧席を設け、エンドステージ型のホールとしステージは仮設型としますが、昇降式機構もコストを含め検討します。
- ・壁にカーテン付きの鏡も設け、ダンス系の練習に対応します。



## 市民ニーズに合わせ、表区画・裏区画を可変し各室が連携・連動する高稼働率の施設



### ホールとスタジオの連動イベントへ対応

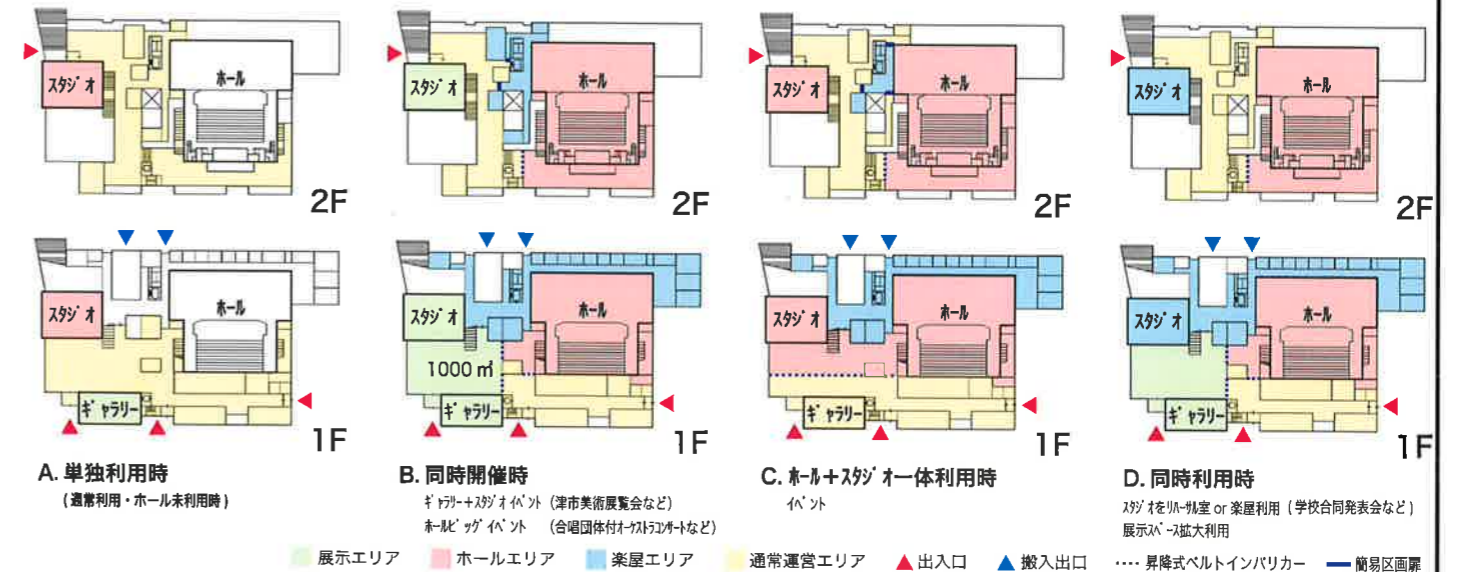
- ・スタジオとギャラリーの間にベルトインバリーカーで区画することにより、ホールとスタジオの連動した900名規模のイベントができる計画としながら、ギャラリーや情報コーナー等は通常運用できます。

### 1000㎡の単独展示スペース

- ・スタジオとギャラリーが連動し、間の共用部を使うことで、1000㎡の津市美術展覧会等の催しもの開催ができます。交差点の入口は展示専用の入口にでき、ホール利用も同時に単独運用できます。

### 諸室を楽屋へ転用しやすい配置

- ・連続したバックの空間で、スタジオや控室、創作工房等を楽屋として利用可能。2階バンド室や体験交流室も簡易区画扉と各室の2つの扉で楽屋利用可能で出演者の増減に対応できます。



### ホールとスタジオ、練習室間の遮音配慮の配置

- ・ホールとスタジオ間の遮音を取った配置で、効果的に遮音が取れ、同時開催が可能です。各練習室も同様です。

### 簡単に区画切り替え①

- 上記の利用エリアの切り替えは、弊社開発の昇降式ベルトインバリーカー等で、手動により簡単に切り替えを行うことが可能。

### 簡単に区画切り替え②

- 上記の利用エリアの切り替えは、弊社開発のポリカーボネート製の簡易区画扉で簡単に軽やかな区画を形成することが可能。

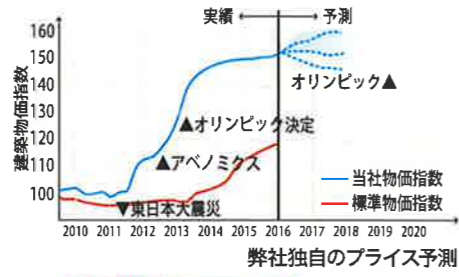
特定テーマ(4) ライフサイクルコストの低減及び工事発注の不調、不落を未然に防ぐための方策

# 構造形式から維持管理にいたるまで、様々な計画メニューを徹底して精査し、ローコストでハイスペックの文化施設を実現します。

## 徹底したコストコントロールで工事費を適正化

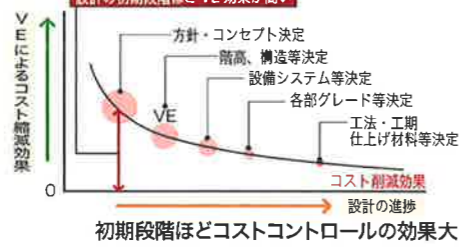
### 豊富なデータに基づくプライズ予測

- ・弊社では豊富な社内案件の工事費内訳データを整理・分析し、全国平均や刊行物では読み取れないリアルタイムのプライズを常時把握しています。
- ・情報ストックを駆使したプライズ予測を元に、2015年度中に複数件ホールを設計・積算したチームが、実際に用いた様々な手法や対策を提案します。



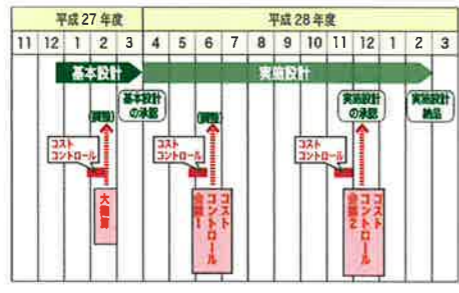
### 要所でコストコントロール会議

- ・一般的に、設計の段階が進むほどコスト調整は困難になる傾向にあります。
- ・基本設計の初期段階から、専門のコストコントロールセンター主導で調整を行うことで、効果的に工事費を抑制します。
- ・関係各位へ素早く情報を共有し、不安要因を早期解消します。



### さらに万が一の不調に備えて

- ・基本設計の段階から、設計内容の優先順位を明確にしておき、万が一の不調に備え、市のご担当者様が設計変更を素早く判断できるよう準備をします。
- ・必要に応じ、変更後の図面をあらかじめ用意する等、速やかな対応が出来るように準備をしておきます。



## イニシャルコストを大幅削減し、プロジェクトを確実に実行に移します。

### 面積を削減し適正な坪単価を確保

- ・最近の実績から、ホールを含む施設は坪230万程度が平均的な落札価格です。
- ・様々な手法を講じることでコスト削減を行いながら、本計画においては坪単価200万程度を目標とするのが妥当です。

年度	平均坪単価
2013	176万
2014	228万
2015	240万

### 共用部を合理化し、面積を1割縮小

- ・計画(特に共用部・バック動線)をコンパクトにまとめ、機能を損なうことなく全体面積を700㎡(1割)縮小することにより、坪単価を200万程度確保します。

### コストのかからない形態

- ・低層(2階建て)でシンプルな形態とし、法規上求められる設備・仕様を省略します。
- ・コストのかかる地下室を避ける計画とします。

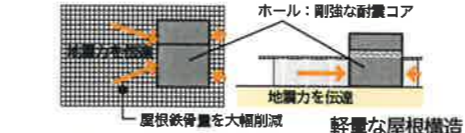
### 鉄骨造の採用で工期とコストを大幅削減

- ・全体構造に鉄骨造を採用し、鉄筋・型枠の労務コストを削減します。
- ・工場制作工程を増やして現場労務負担を減らし、職人不足による工期遅延を回避。

- ・ホール外壁に軽量の穴あきPC板を採用し、荷重を減らして地下躯体量を低減します。
- ・遮音性能はRC造外壁と同等の性能を有します。

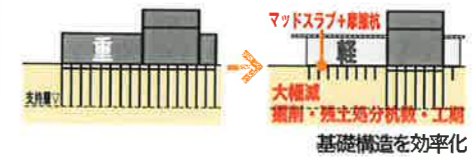


- ・ホール部分はブレースで剛強な構造とし、建物全体の地震力を負担します。
- ・活動室上部は軽量の屋根とし、ホール部分に地震力を伝える構造とすることで、柱・梁断面をを大幅に削減します。
- ・モジュール化により現場建方を効率化します。



### 基礎構造にメリハリをつけ掘削量低減

- ・ホール部分の基礎構造は支持杭としながら、軽量な活動室まわりはマットスラブと沈下抑制摩擦杭の組み合わせとする併用基礎により、掘削量や躯体量を低減してコスト大幅に削減します。



### その他様々な方策を採用

- ・耐久性はきちんと確保した上で、シンプルで安価な建材を徹底して採用します。
- ・特定天井対応によるコストアップを回避するため、天井を張らない意匠を提案します。(災害時の落下防止にも寄与)
- ・その他、下表の方策を提案します。

- ・屋根は安価なシート防水を採用。
- ・外壁は押出成形セメント板を採用。
- ・内装は石膏ボードに塗装を主体とする。
- ・ガラスを多用しない。
- ・カーテンウォールの採用は一部に限定。
- ・舞台照明のLED化を見送り。(将来対応可能)
- ・エネルギーサービス事業の採用を検討(設備管理業務も削減可能)

### 実現可能なコスト計画

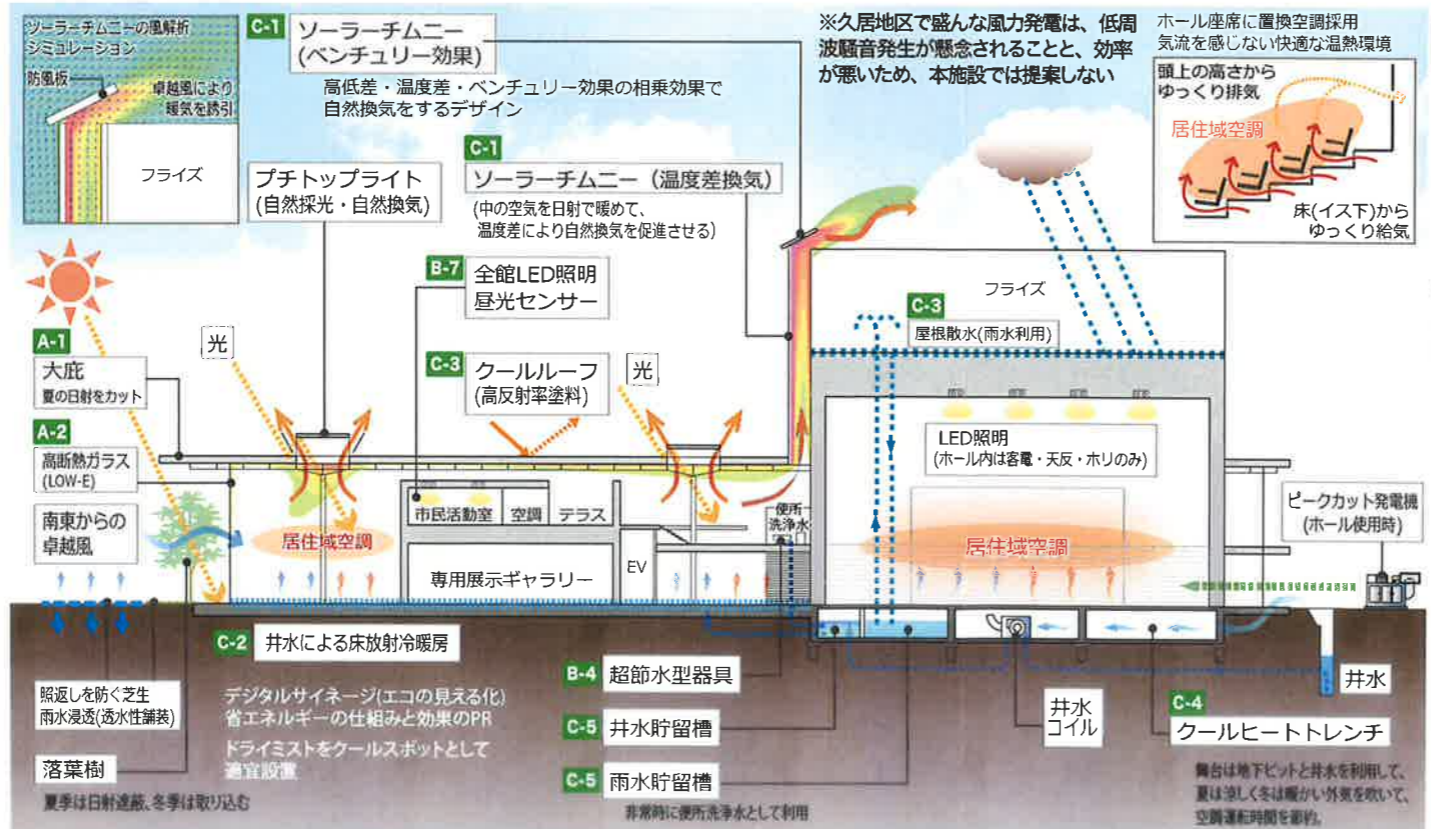
- ・以上のコスト削減策を採用した場合の概算を以下に示します。(現時点での単価による)
- ・価格の動向を注視し、各設計段階で随時修正を加えます。

工種	金額(千円)	工種	金額(千円)
建築主体工事		塗装	34,140
直接仮設	56,160	内外装	216,540
土工	38,580	仕上ユニット	253,910
土業	198,900	昇降機設備	16,250
鉄筋	60,910	建築主体工事合計	2,253,080
コンクリート	56,550		
型枠	63,730	外構工事	57,070
鉄骨	610,730		
既成コンクリート	39,130	電気設備工事	474,260
防水	19,580		
タイル	860	機械設備工事	493,290
木工	80,010		
屋根及びとい	61,310	共通仮設費	173,080
金属	146,260		
左官	15,600	現場管理費	230,520
建具	198,950		
ガラス	43,230	一般管理費等	309,380
		総計	3,948,930

## 自然エネルギーを徹底活用し、コストのかからない高効率の施設とします。

### 消費エネルギーを削減し効率化

- A 外部からの負荷を絶つ**
  - ・大庇による日射カット、高断熱ガラス等の採用により外部からの負荷を低減します。
- B 高効率化・消費ロス低減**
  - ・常用/非常用兼用発電機によりホール空調時のエネルギーを補うことで、引き込み電力のピークを抑え、契約電力の基本料金を削減します。
  - ・超高効率ガス熱源機を採用します。
  - ・床吹出による居住域空調の採用により、高天井でも効率化を徹底。
  - ・イニシャルコストがかかる舞台照明を除き、全館にLED照明を採用。
  - ・練習室照明に人感センサーを採用し、消し忘れを防止。
- C 自然エネルギー利用**
  - ・プチトップライトからの効果的な自然採光により、照明エネルギーを低減。
  - ・ソーラーチムニーにより、卓越風や温度差を利用して効率的に自然換気。
  - ・井水と雨水をWC洗浄水に利用。



### 建物消費エネルギー削減のための導入項目

項目	光熱水費削減割合(年間)	CO2削減割合(年間)
A-1 大庇	0.4%	0.7%
A-2 高断熱ガラス(LOW-E)	2.3%	4.1%
A-3 外断熱(50mm)	2.4%	4.3%
B-1 超高効率ガス空調熱源	4.1%	0.1%
B-2 全熱交換器	0.6%	1.2%
B-3 人数把握にもとづく外気量自動制御	0.6%	3.4%
B-4 超節水型器具	0.1%	0.2%
B-5 高効率変圧器	2.8%	3.2%
B-6 低損失コンデンサ	0.2%	1.7%
B-7 全館LED照明	4.5%	4.4%
B-8 照明スイッチの細分化(配線回路の分離)	1.6%	1.5%
B-9 自動照明制御(人感センサーなど)	3.8%	4.3%
B-10 エレベータのインバータ制御	0.4%	5.2%
B-11 電力デマンド制御	0.2%	0.2%
C-1 自然通風(風の塔)	2.2%	4.5%
C-2 雨水・井水利用	1.5%	0%
C-3 クールルーフ・屋根散水	0.2%	0.8%
C-4 クールヒートトレンチ	0.1%	0.2%

### 長く使い続けられる長寿命の施設

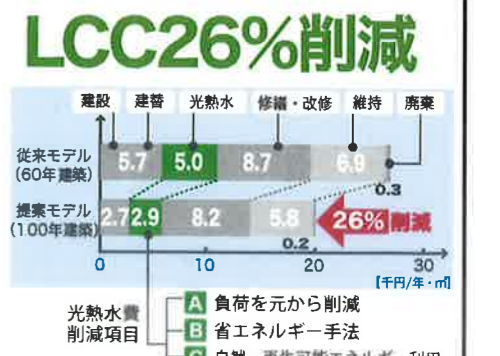
- ・材料強度や耐久性があり、清掃がしやすい材料を採用。
- ・設備シャフトは更新を見越したゆりのあるスペースを確保。

### メンテナンスコスト低減

- ・汚れにくく、清掃がしやすい衛生器具を採用。
- ・交換時に余計な費用がかからない汎用品を採用。

### LCCを大幅削減

- ・以上のランニング・メンテナンスコスト低減と建物の長寿命化により、LCCを26%削減。



# 市民による文化活動創造の場となる施設づくりを得意とするチームで、迅速かつ確実に業務を遂行します。

業務の実施方針、手法、設計上特に重視する事項及びその他の業務実施上の配慮事項等

## 久居地区全体の文化・経済の活性化に寄与する施設をつくります。

### 得意とする賑わい・交流の創出手法を駆使

・弊社は公共文化施設において、利用者の視点に立った様々な工夫を大胆に展開することで、大幅な利用率アップと賑わいの創出に実績を持っています。この得意分野を最大限に活かして、多世代間の活発な交流や、久居地区の活性化を実現します。

### 地区イベントとの連携など、市民参画のきっかけづくり

・「久居まつり」「仮装大笑」との連携や新規催し物の開催など、運営ワークショップなどできっかけづくりをサポートします。

### 効果的な市民意見反映をサポート

・まちづくり協議会との意見交換会の開催や、議題・論点を絞ったかたちでのワークショップ開催など、市担当者様と協議しながら、効果的な市民意見反映の実現をサポートします。  
・運営への市民参画も必要に応じてサポートします。

### 総合調整会議の開催

・市内の各関係部署が一同に会した総合調整会議を開催し、部署間の調整の手間など市側の負担を大幅に減らします。

## 日常の使いやすさから災害時の対応まで考慮し、安心・安全のまちづくりに貢献します。

### 市全体を考慮した防災対策

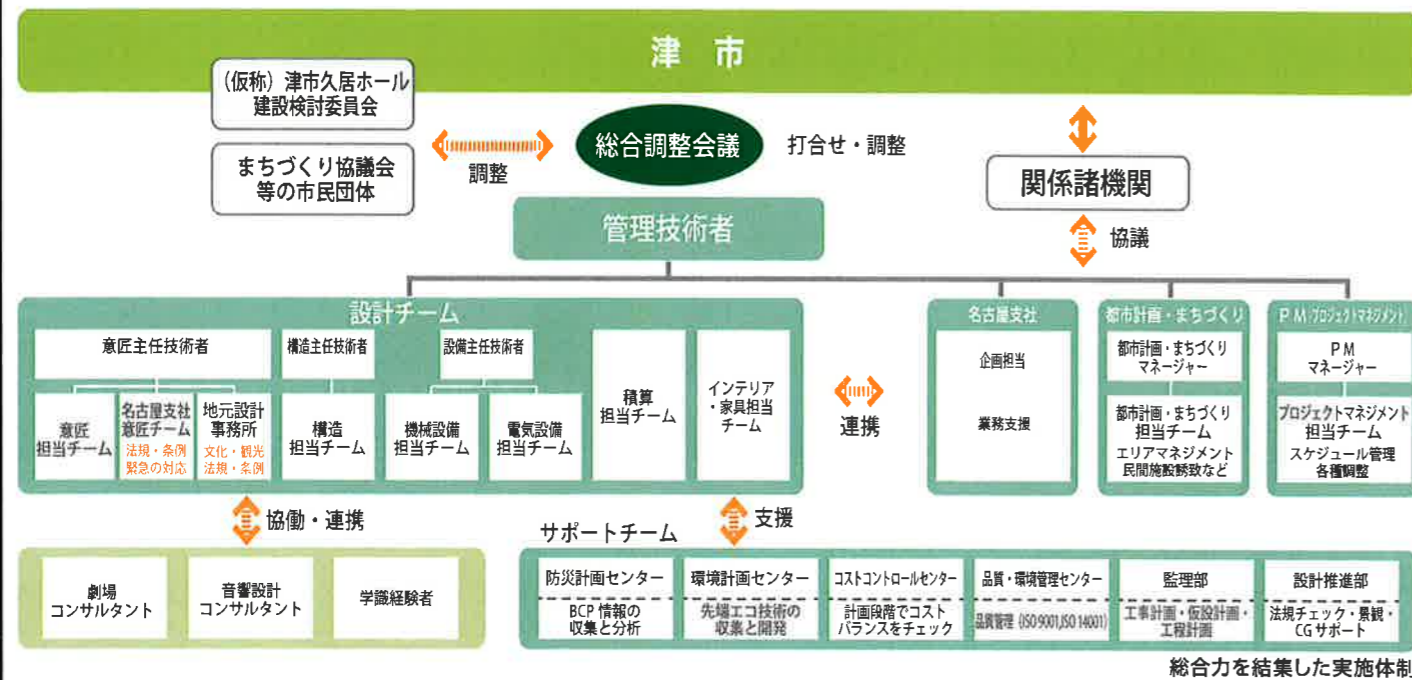
・もともと市役所があった敷地であることをふまえ、災害時には一時避難所としても利用可能なつくりとします。  
・天井の省略による落下物防止や、非常発電機・井水利用によるインフラ確保など、災害時にも安全に機能する施設とします。

### バリアフリーの徹底

・建物を極力低層に抑えて計画した上で、段差等を徹底してなくし、誰にでも使いやすい施設を実現します。  
・シンプルでわかりやすい施設構成とし、サインに頼らない本当のユニバーサルデザインを実現します。

業務に直接係る組織体制、業務フロー、工程計画及び動員計画

## 全社的なバックアップ体制による高い技術力で業務を遂行します。



### 総合設計事務所と地元設計事務所による密な連携

・地域の風土、気質や条例対応に精通した地元設計事務所を設計チームメンバーに加えるほか、総合設計事務所本社の技術力とノウハウ、名古屋支社の高い機動力を結集した総合力により、ご要望に迅速に対応します。

### 総合設計事務所のインハウスによる高い技術力

・構造・設備設計担当はもろろんのこと、積算、インテリア担当までを社内を抱えたインハウスの総合設計事務所である強みを活かし、社内の各専門部門が全面協力する体制で、高い技術力を発揮します。

### 国内 No.1 ホール設計チーム・国内 No.1 協力事務所

・日本建築学会賞を受賞した市民ホールの設計担当者、ホールの実績の豊富なスタッフが、熟練した設計を行います。  
・日本を代表する、受賞歴多数の各協力事務所を加え、国内最強チームを結成し、最高品質レベルの文化施設を実現します。

### 社内まちづくりチームが参画、市街地活性化の方策を提案

・建築の設計チームとは別に、都市的視点から施設および市街地全体を考え、久居地区の活性化に結びつける「都市設計部まちづくりチーム」を参画させます。

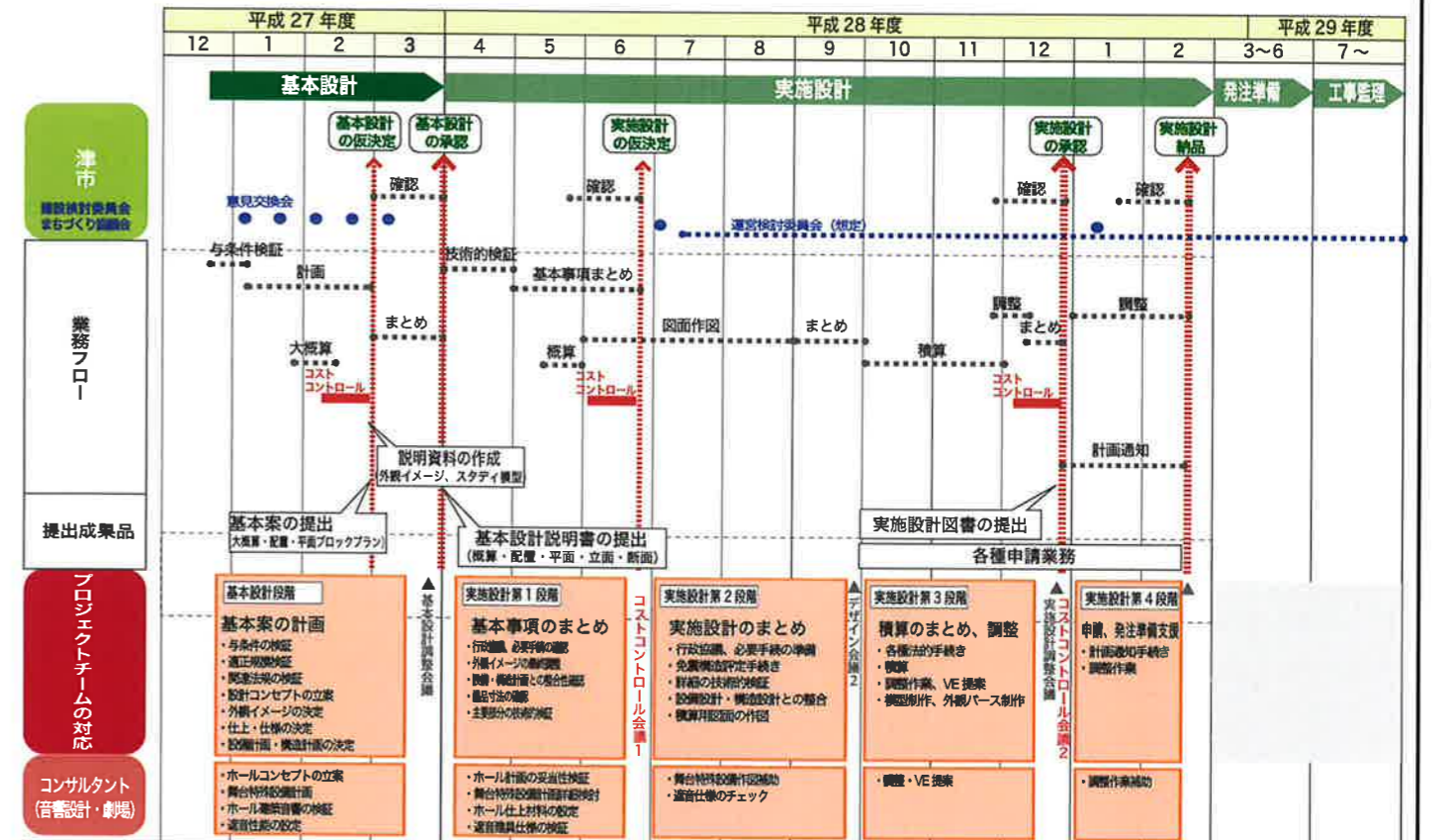
## 常に費用対効果を検証しながら、高品質な施設づくりを実現します。

### フロントローディング手法

・基本設計の初期段階に十分な人員を投入して問題点を明確化・早期解決を図り、手戻りを無くして設計工期を守ります。

### きめ細かなコストコントロール

・設計の初期段階から各コストを検証し、直ちに設計にフィードバックして内容を調整することで、円滑に業務を遂行します。



PM (プロジェクト・マネジメント)	スケジュール作成・業務進捗管理				図面枚数	延べ設計・積算員数 (うち一人・日)
	基本設計	調整	実施設計	調整・確認		
建築 (意匠)	40人・日		50人・日	調整 確認	150	1250人・日 (うち一人・日)
建築 (構造)	1.0人・日		1.5人・日	調整 確認	80	340人・日 (うち一人・日)
電気・機械設備	1.5人・日		3.0人・日	調整 確認	100	660人・日 (うち一人・日)
インテリア	1.0人・日		0.5人・日	調整 確認	10	160人・日 (うち一人・日)
都市計画・まちづくり	0.3人・日		0.3人・日	調整 確認	50	70人・日 (うち一人・日)
各種コンサルタント (音響設計・劇場)	1.0人・日		0.5人・日	調整 確認		160人・日 (うち30人・日)
積算		1.5人・日		調整		160人・日 (うち一人・日)
各種申請・書類作成 (補助金関連含む)				事前協議・調整 計画通知 書類作成	20	100人・日 (うち一人・日)
合計						計 2,900 (130)

※要員数は国交省・技師Cクラス換算値